

⑥ 食事の喜びを感じる(安楽城保育所)

6月6日(金)、安楽城保育所(所長:佐藤由美子)では、児童自ら山でミズを収穫し、採れたミズを利用したミズ汁を給食として食するという食育活動が行われました。児童は食事への感謝・喜びを感じました。



⑤ 泥んこまみれ!!たんぼぼ子ども園田植え体験

6月6日(金)、たんぼぼ子ども園(園長:佐藤弘子)で年長児による田植え体験が行われました。この体験は、JA真室川青年部(代表:高橋洋)の協力のもと毎年行われているものです。



⑧ 老人クラブ連合会による雑巾提供

5月16日(金)、真室川町老人クラブ連合会(会長:高橋美津雄氏、女性部長:太田克子氏)より町立真室川病院を含む町内各施設へ雑巾が寄付されました。



⑦ 真校生 地域環境美化ボランティア

5月16日(金)、真室川高校(校長:岸善一、生徒:93人)が道路や駅の清掃活動を行い、2時間を超える作業の中で6袋ものゴミを集めました。



⑩ 秋山牧場入牧式

5月16日(金)、秋山牧場にて入牧式が行われました。入牧牛は、一頭ごとに体重測定や消毒が行われ、その後、放牧されました。今年度、放牧された牛は52頭です。



⑨ 梅里苑でボランティア

5月31日(土)、山形県ディスティネーションキャンペーン関連施設美化運動として、梅里苑周辺の清掃ボランティアが行われました。15名の参加があり、ご協力いただきました。



① 甌山山開き・記念登山・甌山番楽奉納祭

6月7日(土)、町内外から過去最大の約100名の参加を得て、甌山の山開きが行われ、1年間の山の安全を祈願しました。また、今年度は、同日に女甌山の大大ツラの前で甌山番楽奉納祭が初めて開催され、参加者は迫力ある舞を鑑賞しました。その後行われた記念登山では、男甌山頂、ウイルソンカツラや名勝沼など、甌山の魅力を堪能しました。

② 農産加工販売に向けて、やる気結集!

6月4日(水)、差首鍋地区生涯学習センター「まざれや」において、町内の農林水産物を活用した加工品の生産と販売を行う組合「あがらしゃれ真室川」(庄司安男組合長)の設立総会が開かれました。総会では、生産候補となる加工品の試食懇談会も行われ、組合員の皆さんは熱心に互いの加工品を品評し合っていました。組合から真室川町を代表するような県内外に販売できる素晴らしい商品の誕生が期待されます。

③ 山形中央高等学校陸上競技部による陸上教室

5月30日(金)、真室川小学校(斎藤秀二校長)にて、5、6年生の生徒を対象に山形中央高等学校陸上競技部(15名)による陸上教室が行われました。陸上部員によるお手本を真似しながら、そして時には高校生に負けないぞと競い合いながら汗を流し練習を行いました。陸上部の生徒も最初は照れながらも熱心に指導をしてくれました。

④ いのちの大切さを実感!子育て講演会

5月30日(金)、釜淵保育所で子育て講演会が開催されました。山形県家庭教育アドバイザーを務める後藤敬子さんが、子育ての中で感じる「いのちの大切さ」を題材に自身の経験を交えて講演を行いました。講演の中で、「自分が思い描いていた妻や母親というものになれているかをもう一度見つめ直し、振る舞うことで自然に家族も変わってくる。子どもが生まれた時の気持ちを思い出して、子どもに接してほしい。」と語ってくれました。講演会に集まった皆さんは、先生のお話に深く共感を覚え、涙ぐまれる場面もありました。いのちの尊さ・大切さを強く感じた貴重な時間となりました。

町長コラム 天空の郷

高知県に出張した際、環境王国の一員である本山町を訪れ、環境行政の取り組みについて視察を行った。米が主流で「土佐天空の郷」のネーミングで、食味分析機で80点以上の米のみを取り扱っている。1.9mmの網目で選別し、大粒だけを使用する。更に色選別機で被害粒などを除去し、良品のみを出荷している。また、特別栽培米の基準で栽培しているとのこと。当町では、特別栽培米で、食味分析機で80点以上またはタンパク7.5以下の米に補助を今年度行う。土佐天空の郷米はスーパーで、1キロ800円で販売されている。水田の標高は250m、850mで約9割が棚田であった。実際棚田を見学したが、谷を流れる水と、高地の激しい寒暖差が、古来より美味しい米を育てることが出来る場所として、棚田の形状をそのままに継承されてきたのだろう。眼下が全て棚田であるのだから、見る者を圧倒する壮大な景色が広がっていた。秋には銀色の稲穂と紅葉が又素晴らしいだろうと思ふ。浮かべ帰りに就いた。

真室川町長 井上 薫